

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-25℃ ～ +85℃	保存温度範囲	-10℃ ～ +60℃	
	電 圧	AC 100 V , DC 140 V	_____	_____	
	電 流	5 A	適合ケーブル	φ4.2～φ5	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電氣的性能	接触抵抗	単位コネクタをDC 1 A で測定する。 _____ をDC _____ A で測定する。	5 mΩ以下 _____ mΩ以下	○ —	○ —
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。	1000 MΩ以上	○	○
	耐電圧	端子間、端子シェル間にAC 300 Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
機械的性 能	コネクタの挿抜力	φ0.991 ^{+0.003} ₀ の鋼製ピンで測定する。	挿抜力 0.2 N以上	○	—
	コネクタ組立品の挿抜力	適合コネクタで測定する。	挿抜力 30 N以下 (ロック機構を含む)	○	—
	繰り返し動作	1000 回の抜き差しを行う。	単位コネクタの接触抵抗: 10 mΩ以下 _____ の接触抵抗: _____ mΩ以下	○ ○	— —
	耐振性	周波数 10～55～10Hz/サイクル, 振幅 0.75mm, 5分/サイクルで3軸方向各10サイクル試験する。	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと	○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11ms, 正弦半波 3軸両方向各3回試験する。	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと	○	—
	コネクタ破壊強度	コネクタをか合した状態で、ケーブルを上下左右方向に力を加える。	30N以下コネクタの破損が無いこと。	○	—
	定常状態の耐湿性	温度40℃, 湿度90～95%中に96時間放置する。	①絶縁抵抗: 10 MΩ以上 (高湿時) ②絶縁抵抗: 100 MΩ以上 (乾燥時) ③破損, ひび, 部品のゆるみがないこと	○	—
	温度サイクル	温度 -55℃→ 常温 →+85℃→常温 時間 30 → 10～15 → 30 → 10～15分 を5サイクル試験する。	①絶縁抵抗:100 MΩ以上 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと	○	—
	塩水噴霧	濃度5%の塩水、48時間放置する。	機能を損なうようなはなはだしい腐食がないこと。	○	—
環境性 能	耐熱性	温度+85℃中に 96時間放置する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐寒性	温度-55℃中に 96時間放置する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	はんだ耐熱性	はんだこてをこて先温度+380±10℃で3 ⁺¹ ₀ 秒間ソルダーポット部へ当てる。	外観の変形及びコネクタなどに著しいガタがないこと。	○	—
	はんだ付け性	はんだこてをこて先温度+350±10℃で2～3秒間のはんだ付けを行う。	はんだ付け表面は、ピンホール、ぬれなし、はんだはじき部分などの欠点のないこと	○	—
	耐水圧性	適合コネクタをか合した状態で、水深1mに0.5時間放置する。	コネクタ内部に浸水がないこと。	○	—
	耐気圧性	適合コネクタをかん合した状態で、コネクタ内部に17-圧17.6kPaを30秒間加える。	コネクタ内部より気泡の発生がないこと。	○	—
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△					
備考			承認	HY. KOBAYASHI	18.06.05
			検 図	HY. KOBAYASHI	18.06.05
			担 当	DS. MATSUNE	18.06.05
			製 図	DS. MATSUNE	18.06.05
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。(IEC 60512)					
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番	SLC-112005-31-00	
HRS	製 品 規 格 表		製品名	HR30-6P-3S (31)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL130-0004-1-31	△ 1/1